

県総合教育センター生徒指導・特別支援教育部では、日ごろの教育活動において先生方が子どもたちに行っている支援や対応について、知りたいことを調査させていただきました。この動画は、調査結果で上位になりました「不注意・多動・衝動性」に対する指導、支援について特に大切と思われることを15分程度でまとめたものです。

ご覧いただき、今後の指導、支援に役立ていただければ幸いです。

## ここが知りたい！クラスの中の 気になる子の指導・支援

～不注意・多動・衝動性について～

長野県総合教育センター 生徒指導・特別支援教育部

### こんな子いませんか？

- ・授業中に立ち歩いたり、時には教室から飛び出したりする
- ・話をしてはいけない場面で、静かにしていることができない
- ・全体への指示だけでは、指示が通らない。
- ・忘れ物や、物をなくしてしまうことが多い
- ・友だちの言葉に過剰に反応し、カッとなって暴言、暴力が見られる。



### 「困った子」を「困っている子」ととらえ、背景を考える

- 授業が分からなかったり、何をするか分からず、見通しがもてずにいる。
- 相手の気持ちや場の雰囲気が読めずに、不適切な行動を繰り返している。
- 周囲の様々な刺激に反応し、話を聞き逃している。



## 「困った子」を「困っている子」ととらえ、背景を考える

- 記憶や情報の整理の脳機能に特性がある。
- 自尊心が低下し、満たされずにイライラしている。



5

クラスの子どもたちを思い浮かべながら、  
その姿の背景について考えてみましょう。

6

## 指導・支援のポイント

- 1 環境を整える
- 2 教師自身を見つめなおす
- 3 成功体験を積めるようにする



7

## I 環境を整える

ポイント

情報の視覚化

場の構造化



8

### 情報の視覚化

#### 授業の流れ

授業の流れ  
音読  
**教科書**  
漢字テスト

#### スケジュール

くがつ 9月

### 情報の視覚化

#### ルール

ゲームのじゅんばんきめ ジャンケン

#### 気持ち

どのくらいこまってる？

- きんきゅうじたいです!
- たすけて!**
- てっだって
- ヒントをおしえて
- じぶんでできるよ!

【出典】 楽々かあさん公式HP  
[https://www.rakurakumom.com/single-post/fb\\_039](https://www.rakurakumom.com/single-post/fb_039)

### 場の構造化

#### 提出物

提出物の整理

#### ロッカー・棚の整頓

ロッカー・棚の整頓

#### 掃除用具の片づけ方

掃除用具の片づけ方

#### 文房具

文房具

## 2 教師自身を見つめなおす

教師自身の「普通」「一般的」を冷静に見返してみると・・・

➔

学びを妨げる「刺激」になることもある...

- 声の大きさ、話し方
- 人の動き
- 掲示物
- 物音、話し声
- 座席
- 板書、チョークの色



## 教師自身が刺激になっていることも多い

### 自分の言動を見直す

- ◆ 大声で指導していないか  
→ おおらかにかわり、落ち着いたときに話を聞く
- ◆ 歩きながらの指示や、活動中に追加の指示を出していないか  
→ 簡潔に、はっきりとした指示をだす
- ◆ イライラしたり、準備が間に合わずバタバタしたりしていないか  
→ そんな時こそ落ち着いて、深呼吸



落ち着いて行動し、話は短く穏やかに

13

## 3 成功体験を積めるようにする

- 「できた」を実感できる場面を設定する
- どこに学びにくさを感じているか探る
- 自分の居場所や、安心を感じられる教室にする



14

## 「あれ? うまいかない」と思ったら

- 背景をもう一度探る
- 背景から指導・支援を見直す
- 相談する



15

## 参考に見ましよう ①

リーフレット  
「子どもを支えるために  
～子ども理解を考える～」



16

## 参考にしてみましょう ②

### 信州“Basic”～ビジュアル版～



「環境を整える」に  
関連して



17

## 参考にしてみましょう ③

### 発達障害児等を支える指導・ 支援事例集

通常の学級や特別支援学級等における  
連続的で多様な教育対応等についての県  
下の取組を掲載



### 合理的配慮実践事例集

一人一人の実態に応じた「合理的配  
慮」の提供により、周りの子ども達と  
同じスタートラインに立ち、生き生き  
と学ぶ県内の事例を紹介



18

## 各校の研修での活用について

➤ 感じたことや、取り組んでみたいことを  
同僚と話し合ってみましょう。

- 教室環境の視点で
- 教師自身を見つめなおす視点で
- 自己肯定感を高めていける学級の視点で



19